

づつらアーク

効能・効果

- 1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛（生理痛）・外傷痛の鎮痛
2) 悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

大人(15才以上)・・・1回1包 8才以上15才未満・・・1回½包
3才以上8才未満・・・1回¼包

何れも1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用する。

服用間隔は6時間以上おくこと。

本剤の成分 1日量(2包)中

日局 アセトアミノフェン 600mg、日局 エテンザミド 600mg、日局 プロムクロリル尿素(プロモバレリル尿素) 400mg、日局 無水カフェイン 200mg 添加物としてヒドロキシプロピルセルロース、グリチルリチン酸2K、グリセリン酸Ca、パレシヨテンブ、黄色4号(タートラジン)、香料を含有する。

注意

1. 次の人は服用しないこと。(1) 本剤によるアレルギー症状を起したことがある人。(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起したことがある人。
2. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと。
3. 服用に際しては、説明文書をよく読むこと。
4. 直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。
5. 配置期限経過後は服用しないこと。

2包入(1包1g) ¥250

副作用被害救済制度 ☎0120-149-31

配置期限

TRADE

MARK



非ピリン系

づつらアーク

第②類医薬品

頭痛 歯痛 解熱 鎮痛薬

奈良県橿原市川西町六三二一

大和合同製薬株式会社

〇七四四一七三三三五



解熱鎮痛薬 使用上の注意

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる。)

1) 次の人は服用しないこと。

(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

2) 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと。

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬

3) 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと。

(眠気等があらわれることがある。)

4) 服用前後は飲酒しないこと。

5) 長期連用しないこと。

相談すること

1) 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(3) 授乳中の人。(4) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)。(5) 高齢者。(6) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(7) 次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2) 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	精神神経系	めまい
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振	その他	過度の体温低下

裏面につづく

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステイブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢、尿量減少等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。 眠気
- 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

大和合同製薬株式会社

効能又は効果 1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛 2) 悪寒・発熱時の解熱

用法及び用量 大人(15歳以上)1回1包、8歳以上15歳未満1回1/2包、3歳以上8歳未満1回1/4包、3歳未満は服用しないこと。いずれも1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用すること。服用間隔は6時間以上おくこと。(用法及び用量に関連する注意)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。



頭痛



神経痛



肩こり痛

第②類医薬品
非ピリン系

ぶつう **アーク**



大和合同製薬株式会社 解熱鎮痛薬

奈良県橿原市川西町632-1
お問い合わせ先0744-27-3325

8包入

ぶつらん

第②類医薬品

8包入

頭痛/咽喉痛

頭痛/咽喉痛

ここからお出し下さい



△使用上の注意

※【してはいけないこと】(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)1.次の人は服用しないこと。(1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。2.本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと。他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬 3.服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと。(眠気等があらわれることがある。)4.服用前後は飲酒しないこと。5.長期連用しないこと。

※【相談すること】1.次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。(1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。(3)授乳中の人。(4)水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)。(5)高齢者。(6)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(7)次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍 2.服用後、次の症状があらわれた場合は、副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。皮膚：発疹・発赤、かゆみ/精神神経系：めまい/消化器：吐き気・嘔吐、食欲不振/その他：過度の体温低下
まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと喘ぎ、息苦しい等があらわれる。

3.服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。眠気 4.5~6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この箱を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。



配置期限

8包入(1包1g)

¥700+税

成分及び分量 1日量(2包) 2g) 中 日局アセトアミノフェン600mg、日局エトナゾロニド600mg、日局エトナゾロニド・ナトリウム塩400mg、日局無水カフェイン200mg 添加物としてトクロキソプロフェン、グリチルリチン酸2K、グリセリン、ステアリン酸Ca、パルチン、ステアリン酸、香料を含む。 4号(ダートラジ)、香料を含む。 保管及び取り扱い上の注意 (1)直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に保管すること。(2)小児の手の届かない所に保管すること。(3)他の容器に入れ替えないこと。(瓶用の原因になったり品質が変わる。)(4)1包を分割した残りは、袋の口を折り返し残量を記載して保管し、2日以内に服用すること。(5)配置期限を過ぎた製品は服用しないこと。 副作用被害救済制度 ☎0120-149-931